

平成28年度

真岡市社会福祉協議会事業報告書

(1) 高齢者福祉の推進

①老人給食サービス事業の実施

市内に居住する在宅の一人暮らし高齢者及び虚弱な高齢者世帯に対し食事を提供することにより、地域ボランティアとの交流を通して、引きこもりがちな高齢者等に対し、安否確認や社会的孤立感の解消及び自立生活を援助しました。

給食の調理及び配送は、ボランティアの協力を得て行いました。

対 象 者	70歳以上の一人暮らし高齢者で自家調理が困難な者でかつ低所得の者
	75歳以上高齢者のみの世帯で、心身の障害・疾病等により自家調理が困難な者
	その他社会福祉協議会長が特別に必要と認める者

②生きがいデイサービス事業の運営受託

2名の指導員を配置し、家に閉じこもりがちな一人暮らし高齢者等に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長並びに要介護状態になることの予防を図るためのサービスを行いました。

施設概要	摘 要
施設の名称及び 開設曜日	ほっと一息サロン久下田 (月・水・金) ほっと一息サロン物部 (火) ほっと一息サロン長沼 (木)
サービス提供時間	午前10時～午後3時
サービス提供内容	教養講座、趣味活動、日常動作訓練等

③高齢者福祉等を担う団体等への支援及び助成

すべての高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、老人クラブ連合会等への支援を図りました。

団体等名	摘 要
老人クラブ連合会	運営費及び事業費補助として488,000円を助成するとともに、老人クラブ会員相互の親睦や連絡調整を図るための支援を行いました。
わたの花趣味クラブ連絡協議会	趣味クラブ相互の連絡協調と情報交換を図り、高齢者各自の健康と生きがいを推進しました。そのため、「わたの花趣味クラブ発表会」の支援及び施設の無料貸出を行いました。
介護老人福祉施設	8か所(椿寿園・きたはら・やまさわの里・喜望荘・桜の華・三起の森・かめやまの郷・田井の里)の活動補助として各100,000円を助成しました。

(2) 障がい児者福祉の推進

①真岡市こども発達支援センターひまわり園の運営

6名の指導員を配置し、次の事業を実施しました。

(放課後等デイサービス)

主に小学生以上から高校生までの学校に通っている障がい児を対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中における療育の場と、放課後等の居場所を提供する放課後等デイサービス事業を実施しました。

(児童発達支援)

障がいを持っていると思われる未就学児を対象に、日常生活における基本的動作の指導、知識や技能の習得、集団生活への適応訓練を行う児童発達支援事業を実施しました。

②相談支援事業所ひまわりの運営

障がい者、障がい児及びその保護者が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適切な指定計画相談支援及び指定障害児相談支援を提供しました。

③就労継続支援B型『真岡さくら作業所』の運営

4名の指導員を配置し、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力のために必要な訓練等のサービスを行いました。

④地域活動支援センター『さくらんぼ』の運営

3名の指導員を配置し、障がい者に対し、通所による創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進させることによって、地域における障がい者等の自立の促進と社会参加を支援しました。

⑤障がい児者福祉を担う団体等への支援及び助成

団体名等	摘 要
身体障害者福祉会	運営費として 191,000 円を助成しました。また、身体障がい者相互の親睦を図るとともに関係団体との連絡調整を行い、同じ生活課題を抱える当事者等への活動支援を行いました。
知的障がい者育成会	運営費として 64,000 円を助成しました。また、社会啓発事業や相談事業、知的障がい児者をもつ親の親睦や会員の研修等への支援を行いました。
肢体不自由児者父母の会	運営費として 50,000 円を助成しました。また、肢体不自由児者に対する必要な知識、技術の向上と会員相互の連絡調整を図り、肢体不自由児者の健全な育成とその福祉増進を図るための支援を行いました。
聴覚障害者協会	運営費として 30,000 円を助成しました。また、聴覚障がい者の福祉増進やその親睦を図るための支援を行いました。
こども発達支援センターひまわり園保護者会	運営費として 50,000 円を助成しました。また、心身障がい児の父母の連絡調整や、心身障がい児の福祉の増進と教育の振興を図るための支援を行いました。
障害者支援施設 (入所施設)	真岡ハートヒルズの事業補助として 100,000 円を助成しました。

(3) 児童福祉の推進

①福祉教育への支援及び協力

学童、生徒の「生きる力」を育む環境づくりのため、福祉学習の充実に取り組みました。また、福祉機器等の貸出を行いました。

分類	メニュー	内 容	件数
全般	福祉講話	福祉学習導入としての全体的な講話	3
高齢者	インスタントシニア	高齢者の疑似体験	8
身障がい 体	車いす体験	車いすの説明、乗る体験、補助する方法等の学習	9
	車いす利用者の講話	車いす利用者による講話	5
視覚障がい	点字	レベルに応じた点字講習や点訳ボランティアの講話	8
	アイマスク体験	視覚障がい者の体験とともに、それを補助するガイドヘルパーについて学習	9
	視覚障がい者の講話	視覚障がい者による講話	6
聴障がい 覚	手話	レベルに応じた手話講習、手話の歌、手話ゲーム	6

②おじいちゃん保父事業の実施

核家族化が進む中で、おじいちゃんに触れ合う機会が少なくなっている子どもたちに、おじいちゃんのぬくもりを感じてもらうことを目的とするとともに、真岡市が推進している「三つ子の魂育成事業」の一環とし、公立保育所4か所へおじいちゃん保父4名を派遣しました。

(月2回の派遣)

派遣保育所	真岡保育所・西田井保育所・中村保育所・物部保育所
-------	--------------------------

③子どもの遊び場等の環境整備事業の実施

事業項目	摘 要
子どもの遊び場等へのベンチの配置	ベンチ13台の整備を行いました。

④児童福祉を担う団体への助成

団体等名	摘 要
民間保育所	市内8か所の民間保育園（西真岡・西真岡第二・真岡めばえ・萌丘東・真岡あおぞら・にのみや・いちごの杜・せんだん）に施設整備補助として各60,000円を助成しました。
児童養護施設	あかつき寮の事業補助として100,000円を助成しました。
保育ママ連絡協議会	運営費として72,000円を助成しました。
教育福祉懇話会	教育福祉懇話会の開催に120,000円を助成し、児童の健全育成に努めました。

⑤要保護・準要保護児童生徒修学旅行費の助成

要保護家庭・準要保護家庭の小学生、中学生を対象に修学旅行費として448,250円を助成しました。

（4）母子福祉の推進

母子寡婦福祉会への支援及び助成

運営費として56,000円を助成しました。また、母子寡婦相互の親睦を図るとともに、母子寡婦家庭の総合的福祉増進と向上発展を図るための支援を行いました。

（5）自立した生活への支援

①日常生活自立支援事業（あすてらす）の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対する地域生活の支援が重要性を増す中で、こうした方々に対する相談支援体制を整備し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理及び通帳・印鑑等の保全サービスを行いました。

②法人後見事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度の普及推進を図るとともに、法人として成年後見人を2件受任しました。

③貸付事業の実施

現下の厳しい雇用経済情勢に対応するため、対象世帯が安定した生活を実現できるよう福祉向上を図ることを目的として、適正迅速な資金の貸付を行いました。

また、当該世帯の抱える様々な問題に応えるため、民生委員、県社協等関係機関との連携によりケースに応じた援助活動を行いました。

事業項目	摘 要
社会福祉金庫貸付事業	・当社会福祉協議会が実施する貸付で、15件295,000円の貸付を行いました。
生活福祉資金貸付事業	・県社会福祉協議会からの受託による貸付で、必要に応じて貸付相談を行いました。また、県社会福祉協議会との協働で償還指導訪問を2回行いました。

④緊急用食料等給付事業の実施

低所得者等が、緊急的かつ一時的に食料等の生活に必要な物が確保できなくなり、生命が脅かされるおそれがある場合、生活再建に向けた支援を行うもので、食料等の現物給付を行いました。

事業項目	摘 要
緊急用食料等給付事業	・当社会福祉協議会が実施する給付で、4件16,814円の食料等の給付を行いました。

(6) 地域福祉の推進

①地域福祉活動計画（第2期）の策定

市民活動計画として、平成29年度から平成33年度までの5年間を計画期間とする「真岡市地域福祉活動計画」（第2期）を策定し、自助、互助、共助、公助の連携体制の充実を図り、地域福祉社会の実現をめざしました。

策定に当たっては、真岡市が策定する「真岡市地域福祉計画」（第2期）と一体的に策定いたしました。

②地域福祉の推進を担う団体への支援及び助成

地域に密着した福祉活動を展開する団体を支援しました。

支援及び助成団体	摘 要
地区社会福祉協議会	地区社会福祉協議会の活動費として 3,546,400 円を助成しました。地区社会福祉協議会は、5 地区それぞれの地域の社会福祉事業関係者が協力して、地域住民の福祉増進を図る活動を行いました。
地区民生委員児童委員協議会	市内 6 地区民生委員児童委員協議会の活動費として 296,000 円を助成しました。

③ふれあい・いきいきサロン事業の実施

高齢者や障がい者をはじめ、地域住民が助け合い、安心して暮らせるよう、地域住民が主体となっていくふれあいの場づくりを支援するため、31か所に各 30,000 円、4か所に 15,000 円、合計 990,000 円を助成しました。

④地域福祉推進員の設置

地域住民と当社会福祉協議会等をつなぎ、住民主体による福祉の推進を図ることを目的として、地域福祉推進員を 65 区に 94 名設置しました。

⑤真岡市生活支援体制整備事業の運営受託

生活支援コーディネーターの配置及び日常生活圏域を範囲とした協議体の設置運営を行い、地域における高齢者等に対する日常生活上の支援体制の充実及び強化を図りました。

⑥ボランティアの養成

講習会名	摘 要
手話奉仕員養成講習会	全 40 回実施しました。
点字講習会	全 21 回実施しました。
傾聴ボランティア養成講習会	全 5 回実施しました。

⑦小学生を対象とした『ふれあい体験講座』の実施

障がい者への理解と認識を深め、日常生活において、地域の一員として自分に何ができるかを考える機会を提供することを目的として実施しました。

実施月	11月
対象	市内の小学4～6年生児童とその保護者。
内容	視覚障がい者とのカレー作りを行いました。

⑧中学生及び高校生を対象とした『ボランティアスクール』の実施

人と人が助け合うことの大切さを知ると同時に、地域福祉ボランティア活動への関心を高め、命の尊さなどの理解を深めることを目的として、8月に2日間実施しました。

	1日目	2日目
内容	特別養護老人ホーム椿寿園で、施設見学や講話、利用者とのゲーム等とおし、認知症や高齢者の理解等の促進を図りました。	竹林整備で出た竹を利用して、箸を手作りし特別養護老人ホーム入所者50名にプレゼントしました。

⑨登録ボランティア制度の実施

ボランティア活動を行う者が安心して活動し、また、ボランティアを必要とする者が満足できる環境づくりのため、ボランティア登録及び派遣制度を整備し、両者の連絡調整をすることにより、ボランティア活動の普及推進を図りました。

⑩ボランティアの育成を担う団体等への支援及び助成

団 体 等	摘 要
ボランティア活動推進校	市内小・中・高における福祉のこころ育成を目的としたボランティア活動を推進するため、26校に各40,000円、合計1,040,000円を助成しました。
ボランティア連絡協議会	運営費として310,000円を助成しました。 また、市民の社会福祉に対する理解と関心を高めることを目的とした「ふれあいフェスティバル」の開催に800,000円を助成しました。
各種ボランティア団体	真岡点訳サークルへ50,000円を助成しました。
	手話サークルまごころへ50,000円を助成しました。
	朗読ボランティア「ひばりの会」へ50,000円を助成しました。
	傾聴ボランティアさくら貝へ30,000円を助成しました。
	地域奉仕団へ124,000円を助成しました。

⑪災害ボランティア活動の啓発及び育成

災害支援時のボランティア育成事業として、福島県南相馬市で災害復旧・復興ボランティア活動を実施しました。

また、社会福祉協議会全職員及び災害ボランティア支援委員会の関係者や一般参加者による災害ボランティアセンター運営訓練及び炊き出し訓練を実施しました。

(7) その他の福祉対策

①共同募金事業

ア) 赤い羽根共同募金

地域福祉と広域福祉の推進のため、10月に実施しました。

目標額 (円)	実績額 (円)	達成率
9,545,000	9,655,467	101.2%

イ) 歳末たすけあい募金

低所得者、独居高齢者、母子父子家庭などの経済的援助のため、12月に実施しました。

募金額 (円)	対象者	金額 (円)
6, 366, 113	準要保護・低所得者世帯	2, 052, 000
	心身障がい児 (者)	216, 000
	独居・ねたきり・認知症高齢者	1, 569, 000
	母子・父子家庭	1, 261, 000
	福祉団体・学校他	1, 268, 113
	計	6, 366, 113

ウ) 災害義援金

熊本県における熊本地震に対する義援金、岩手県においての台風10号による災害に対して義援金を募集しました。

募 金 額 (円)	
323, 809	熊本県宛 322, 770
	岩手県宛 1, 039

②善意銀行事業の実施

善意による金品等を預かり、低所得者や福祉施設等に払い出しました。

預託金

預 託		払 出	
件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
20	1, 535, 033	62	1, 518, 000

預託品

預 託	払 出
27件	24件

(預託3件については、次年度繰り越し。)

③各種相談事業の実施

地域住民の生活上のあらゆる心配ごと相談に応じ、地域資源を効果的に活用して適切な助言指導を行いました。また、弁護士による専門的な相談を行いました。

事業項目	摘 要	相談件数
心配ごと相談所	月4回（原則毎週火曜日）開設し、相談員が来所者や電話による心配ごと、悩みごとについて指導助言しました。	41件
無料法律相談所	毎月第2火曜日に開設し、弁護士による法律的な相談を行いました。	137件

④福祉車両及び車いす等貸出事業の実施

歩行が困難な方に対して、短期で福祉車両及び車いす等の貸し出しを行いました。

⑤火災による罹災者への見舞金の給付

火災見舞金として95,000円（県共同募金会40,000円・真岡市支会55,000円）を贈りました。

⑥その他団体への支援及び助成

団体名	摘 要
真岡市遺族会連合会	運営費として62,000円を助成するとともに、英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉増進及び遺族相互の親睦を図るための支援を行いました。

(8) 運営の充実、強化

① 広報・啓発活動の充実

市民の福祉意識を具体的な活動へつなげるため、福祉に関する情報を発信しました。

事業項目	摘 要
ホームページ	・平成28年11月にページ全体のリニューアルを行い、以降は月平均9件の事業内容等の情報発信を行いました。
社協だより	・もおか社協だよりを3回発行しました。
市の広報紙「広報もおか」及び「ウィークリーニュースもおか」	・わたのみ基金の寄付者及び善意銀行の預託者、災害義援金の募集等の情報を掲載しました。
社会福祉大会	・市民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため「真岡市社会福祉大会」を開催し、55名・2団体に対し、社会福祉協議会会長表彰及び感謝状の贈呈を行い、11名に対し、共同募金会真岡市支会長表彰を行いました。

② 運営基盤の強化

地域福祉推進のための財源となる地域福祉振興基金(わたのみ基金)の造成とともに、充実した事業推進に必要となる自主財源の確保に努めました。

ア) 社会福祉協議会会員募集

種別	会員数 (件)	金額 (円)
特別会員A (5,000円)	237	1,165,000
特別会員B (3,000円)	909	2,727,000
賛助会員 (1,000円)	74	74,000
普通会員 (300円)	18,250	5,495,000
合計	19,470	9,461,000

イ) 地域福祉振興基金(わたのみ基金)の造成

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、安定的な財源を確保する目的の地域福祉振興基金に一般篤志者の方々から39件1,866,818円の善意が寄せられました。

また、独自事業として市民ゴルフ大会を11月に開催し、基金造成に努めました。

理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催状況

(1) 理事会

開催日	場 所	議 事 内 容	結 果
28. 5. 25	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業報告について ・ 平成27年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会決算について ・ 評議員の選任について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>
29. 2. 8	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会補正予算について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会定款の一部改正について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会生活困窮者自立相談支援事業実施要綱の制定について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会生活困窮者自立相談支援調整会議運営要綱の制定について ・ 真岡市地域福祉活動計画（第2期）について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>
29. 3. 29	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業計画について ・ 平成29年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会予算について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・ 福祉サービスにおける苦情解決に関する第三者委員の委嘱について ・ 施設長の任免について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>

(2) 評議員会

開催日	場 所	議 事 内 容	結 果
28. 5. 25	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業報告について 平成27年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会決算について 理事の選任について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>
29. 2. 8	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会補正予算について 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会生活困窮者自立相談支援事業実施要綱の制定について 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会生活困窮者自立相談支援調整会議運営要綱の制定について 真岡市地域福祉活動計画（第2期）について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>
29. 3. 29	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業計画について 平成29年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会予算について 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会理事の選任について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	場 所	議 事 内 容	結 果
29. 3. 29	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員の選任について 	<p>原案可決</p>